

新任時期における地域保健従事者の現任教育に関する
検討会報告書

(抜粋)

平成16年3月

新任時期における地域保健従事者の現任教育に関する検討会

目 次

1) 基 本 的 能 力	1
2) 行 政 能 力	5
3) 專 門 能 力	8
保 健 師 等	1 0

1) 基本的能力

地域保健従事者は、地方分権の推進により、住民の視点に立ち、地域の健康課題に積極的に取り組むことが求められており、基本的能力として新任時期(5年間)に求められる到達目標と行動目標は以下の通りである。

(1) 責任感

① 組織目標認知能力

到達目標：自治体の政策方針を理解し、担当部署の使命や目標を正しく理解することができる

行動目標：

- ・自治体の総合計画や首長の公約等の内容を知っている
- ・担当部署の使命や目標を、総合計画における位置づけ等から正しく理解できる
- ・組織目標と自分の業務とを関連づけて捉えながら、業務を遂行できる
- ・担当部署や担当業務の業務内容を正確に理解できる

② 完遂能力

到達目標：業務に誠意を持って取り組み、気概を持って遂行することができる

行動目標：

- ・使命感をもち、自立して仕事を進め、監督されなくても、常に期限内に仕事を完遂できる
- ・困難な課題を回避することなく、ねばり強く課題の解決に取り組むことができる
- ・定型的、定例的な業務についても誠意を持って着実に取り組むことができる
- ・自分の失敗を認め、理由を分析できる

(2) 協調性

① 役割認識能力

到達目標：組織の一員としての自覚を持っている

行動目標：

- ・組織及び業務の目標達成は、住民と協働することにより可能となることを認識できる
- ・担当部署の目標達成に向けた自分の役割を理解している
- ・業務遂行にあたっては、関係者と協力することが重要であることを理解できる

② 相互理解能力

到達目標：職務の円滑な遂行のために、同僚や上司との意思疎通を図り、連携することができる

行動目標：

- ・日頃から同僚や上司との意思疎通を図り、良好な信頼関係を形成することができる
- ・自己の考えに固執したり、他人の意見に依存せず、他人の立場や考え方を柔軟に受け入れ、連携していくことができる
- ・相手の考えや意見を理解するとともに、相手に自分の意図を正確に伝えることができる

(3) 積極性

① 問題把握能力

到達目標：担当業務の目的を理解し、問題意識を持つことができる

行動目標：

- ・担当業務の目的や業務内容を、担当部署全体の目標及び業務から正しく把握できる

- ・対象である住民の状況を、正確に把握できる
- ・担当業務における到達目標を考えることができ、現状との差について把握できる

② 問題解決能力

到達目標：担当業務について、問題を解決するよう前向きに取り組むことができる

行動目標：

- ・自分自身に対して適切な自信を持ち、初めての業務に対しても、チャレンジしようとする
- ・明らかになっている問題(課題)について解決策を考えることができる
- ・様々な視点から担当業務を見直すことができ、常に改善の意欲を持って業務にあたることができる

③ 自己開発能力

到達目標：自己啓発に努め、職務知識の習得やスキルの向上に努めることができる

行動目標：

- ・職務上、どのような知識や技術が必要であるかを理解するとともに、自分の知識等の水準を把握している
- ・職場内研修(OJT)や職場外研修等において、自分に必要な知識やスキルを自ら勉強しようとする
- ・常に好奇心を持って、様々な事柄を探求している
- ・自分の目標(理想像)を持ち、それを達成するために、日々努力している

(4) 効率性

① コスト認識能力

到達目標：業務を遂行するにあたり、常にコストを認識することができる

行動目標：

- ・業務を計画するにあたり、人件費や時間等のコストを考慮し、少ない経費で大きな効果を上げることがを心がけることができる
- ・担当業務の財源は、住民からの税金であることを十分理解している

② 手段選択能力

到達目標：業務のプロセスや優先順位、効率性を考えることができる

行動目標：

- ・業務を遂行するための手順や方法等がわかる
- ・業務を遂行するにあたり、緊急度、重要度等に応じた、適切な優先順位をつけることができる
- ・住民の満足を得ることが重要であることを認識している

③ 業務遂行能力

到達目標：業務に応じて遂行方法を工夫し、計画的に手際よく業務を遂行することができる

行動目標：

- ・業務の内容や関係者のニーズ等を考慮して、各業務に最適な遂行方法を計画することができる
- ・業務を遂行するために、必要な時間を想定できる
- ・計画に基づいて、各業務を期限内に処理することができる

(5) 理解力

① 事実認識能力

到達目標：担当業務に応じて、事実を正確に理解することができる

行動目標：

- ・得た情報が正しいかどうか、必要に応じて検証することができる
- ・断片的な情報から関連性を探して、事実を総合的に把握することができる
- ・関係者から話を聞くときは、積極的傾聴に努め、話し手の真意や本音、考え方を理解しようとする
- ・業務に関連して、社会や住民の状況を認識できる

② 分類能力

到達目標：担当業務に応じて、事実を的確に整理することができる

行動目標：

- ・事実とそれ以外の情報(うわさ、期待等)を区別することができる
- ・様々な情報を、論理的に分類し、整理することができる

③ 情報収集能力

到達目標：担当業務に応じて、正確に情報収集することができる

行動目標：

- ・業務を遂行するにあたり、正確な情報が必要不可欠であることを認識している
- ・情報を幅広く集めるために、何をすればよいのかが分かる
- ・正確な情報を収集するための手段や方法、キーパーソンが分かる

④ 分析能力

到達目標：担当業務に応じて、情報を正確に分析することができる

行動目標：

- ・得た情報をもとに、その背景や派生事項等を分析できる
- ・得た情報をもとに、関係者の真意や本音、考え方を理解しようとする
- ・必要な情報や重要な情報と、それ以外の情報等を分類し、情報相互の関係を把握することができる

(6) 判断力

① 権限認識能力

到達目標：事実の内容や影響等について、速やか、かつ正確に上司に報告、相談することができる

行動目標：

- ・上司に報告すべき事実の内容や影響を、正確に把握している
- ・事実の内容や影響等について、上司に速やかに報告することができる
- ・得た情報や分析結果に基づき、自分の権限の範囲であるか否かを判断することができる

② 判断処理能力

到達目標：自らの責任で判断処理すべきものについて、適切に対処できる

行動目標：

- ・上司からの指示、助言がある場合は、それを正しく理解し、適切な判断処理ができる
- ・自分の権限内のことについては、得た情報及び分析結果をもとに、適切な判断を行い、そのことを速やかに上司に報告し、判断が正しいかを確認する
- ・職務の目的に沿った判断ができる
- ・自己の判断処理について、発生する可能性のある複数の結果を想定できる

(7) 倫理観

規範認識能力

到達目標：職務に対する使命感を持ち、地域住民の信頼に応える

行動目標：

- 住民が主権者であることを十分理解して、職務を遂行している
- 自分が公務員であることを常に自覚し、公正を重視した行動をとっている
- 地域や社会が、自分に対して抱いている期待を知っている
- 規範や社会のルールに照らして、自分の行動が適切であるかどうかを説明できる

2) 行政能力

地方自治体の行政職員として、行政運営に必要な能力が求められており、行政能力として新任時期(5年間)に求められる到達目標、行動目標は以下の通りである。

(1) 企画・計画

① 法務能力

到達目標：法令用語を正しく理解し、必要に応じて使うことができる

行動目標：

- ・行政に関する基本的な法務知識(憲法・行政法等)を習得している
- ・地方分権の趣旨を踏まえた自治体行政の役割や意義を理解している
- ・組織の構造や命令系統、権限関係に関する規則等を理解している
- ・担当業務の根拠法令を正しく理解している
- ・権利義務等の法的視点から、担当業務を遂行できる

② 企画立案能力

到達目標：上司の指導を受けながら、課題の設定や政策立案ができる

行動目標：

- ・決裁文書等の公文書を適切に作成できる
- ・問題点や改善すべき点がないかを意識して、業務に取り組んでいる
- ・問題の本質を把握したうえで、課題を適切に設定できる
- ・適切な根拠に基づいて解決方法を立案できる
- ・コスト意識をもって企画立案・業務遂行できる

③ 計画的遂行能力

到達目標：上司の指導を受けながら、業務を計画的に遂行できる

行動目標：

- ・担当業務について適切な段取り・手順等を、上司の指導を受けながら計画できる
- ・業務の進捗状況を、進行管理の観点から把握している

(2) 情報処理

① 情報収集能力

到達目標：職務に必要な情報や知識、住民のニーズの概要を把握できる

到達目標：

- ・職務に必要な各種行政情報や統計、調査等を把握し、必要に応じて参照できる
- ・業務遂行に必要なITリテラシーを身につけている
- ・必要な情報データの更新を適切に行うことができる
- ・地域特性を踏まえた情報や知識を積極的に収集できる
- ・担当業務に関する国際的動向に関心を持つことができる

② 情報管理能力

到達目標：収集した情報から必要なものを整理、選択できる

行動目標：

- ・組織目標や方針、担当業務の目的を踏まえて、情報を適切に選択・分類し、整理できる
- ・組織で情報共有が可能なように整理・保管できる

③ 情報活用能力

ア. 到達目標：情報を的確に伝達する

行動目標：

- ・職務の分担や権限関係を踏まえて、適切な相手に、的確に情報を伝達できる
- ・住民に対して適切な情報提供を行うことができる

イ. 到達目標：適切な情報に基づき業務を遂行する

行動目標：

- ・業務遂行に有効な情報を、適切に選定できる
- ・必要に応じて情報データを自ら加工し、業務に活用できる

(3) 意思決定

① 判断力

到達目標：根拠に基づく的確な判断を適切なタイミングで下せる

行動目標：

- ・求められている判断の意義を理解している
- ・意思決定の手続きを理解している
- ・必要な情報や根拠を踏まえて判断できる
- ・適切なタイミングで判断できる

(4) 説明・調整

① 説明能力

到達目標：相手が理解できるよう、端的で正確な説明ができる

行動目標：

- ・説明すべき対象(人)を把握している
- ・説明すべき内容を明確に理解している
- ・説明の聞き手の立場を考え、適切な用語や表現を選択できる
- ・論理的で、かつ理論的に一貫した説明を行うことができる
- ・プレゼンテーション方法を工夫している

② 調整力

到達目標：上司や同僚に、報告・相談を適宜行うことができる

行動目標：

- ・職務の分担や権限関係を踏まえて、個人で判断すべきことと、上司や同僚に報告・相談すべきことを適切に分別できる
- ・適切なタイミングで、上司や同僚に報告・相談できる

(5) 交渉・折衝

① 交渉力

到達目標：上司の助言を受けながら、他部署と交渉・折衝ができる

行動目標：

- ・所属部署や担当業務の考え方を的確に説明できる
- ・交渉・折衝すべき事項や論点を理解できる
- ・交渉・折衝の手続きを把握している

② 住民対応能力

到達目標：地方分権の観点から住民参加の意義を理解し、積極的に住民との協力・信頼関係を構築する

行動目標：

- ・担当業務での住民参加の意義を理解している
- ・多様な立場にある住民とコミュニケーションをとることができる
- ・住民参加型の政策立案に、積極的に関わる
- ・住民協働型の政策・事業の実施に、積極的に関わる

(6) 組織運営

① 使命認知力

到達目標：組織の方針や考え方を理解している

行動目標：

- ・基本構想や総合計画、首長の公約、組織全体の目標、方針等を正しく理解している
- ・政策体系全体の中での所属部署の役割や、担当業務の位置づけを正しく理解している
- ・行政評価等をはじめ、内部・外部による評価、監査結果を理解し、業務遂行の改善に役立てることができる

3) 専門能力

(1) 各職種共通の専門能力

地域保健従事者として、地域において保健行政に従事する専門職種は、保健行政の機能と各職種の役割及び保健活動に必要な知識や技術等を習得し、地域における保健問題解決能力を高め、保健活動が円滑に展開できるようになることが求められている。

さらに、地域保健従事者として求められる能力は、それぞれ専門職種としての知識や技術のみならず、態度や考え方等を大切にするといった公衆衛生マインドを持っておく必要があると思われる。つまり、地域保健従事者は、行政に働く者として地域住民の健康づくりを支援するという使命を持っており、習得した知識や技術は公衆衛生の視点に立って保健活動を行う中で活かされていくものであると考えられる。具体的には、疫学や保健統計、ヘルスプロモーションに関する基本的な概念や知識を身につけ、個別の事例や事象への関わりを始め、自らの業務を常に集団や社会の枠組み、及びライフサイクルの視点で捉え、かつ、社会全体の中での役割を認識し、社会的に恵まれない立場にある住民への配慮を忘れないことである。このような公衆衛生マインドは、新任時期の間に十分育成しておくことが必要である。

各職種に共通の専門能力として、新任時期(5年間)に求められる到達目標と行動目標は以下の通りである。

① 企画・立案能力

ア. 到達目標：自分が関わっている保健事業の本質的な分析ができる

行動目標：

- ・法令を含め、国や都道府県の保健政策の流れを理解することができる
- ・自分が関わっている保健事業の目的を、具体的かつ明確に述べるすることができる
- ・自分が関わっている保健事業の、これまでの成果や今後の改善点を整理して示すことができる

イ. 到達目標：新しい保健事業の企画や立案に参画できる

行動目標：

- ・新しい保健事業の目的と意義を理解することができる
- ・新しい保健事業の企画や立案に際して、建設的な提案をすることができる

② 情報収集・調査研究能力

ア. 到達目標：自らの力で、専門家として業務に必要な情報を収集できる

行動目標：

- ・地域保健や公衆衛生に関する雑誌を定期的に読んでいる
- ・インターネットを通じて、業務に必要な保健情報を収集できる
- ・文献検索によって、業務に関連した論文を見つけることができる
- ・必要ときに、適切な情報を提供してくれる情報提供者を確保している
- ・現在の業務の改善や新しい保健事業の企画や立案に、収集した情報を役立てることができる

イ. 到達目標：チームの一員として、調査活動に実質的に参加することができる

行動目標：

- ・調査研究に必要な最低限の疫学的知識や技術を身につけている
- ・調査チームの一員として、求められる役割を適切に実行することができる
- ・調査結果を適切に解釈し、現在の業務の改善や新しい保健事業の企画・立案に役立てることができる
- ・調査結果を関係者にわかりやすく提示し、説明することができる

③ 保健事業運営能力

到達目標：自分が関わっている保健事業を円滑に実施することができる

行動目標：

- ・自分が関わっている保健事業の法的根拠や予算の仕組み、策定の経緯を理解している
- ・当該事業計画に沿って、自分の役割を的確に果たすことができる
- ・当該保健事業の実施状況を、適切に記録することができる
- ・事業評価に基づき、事業の改善案を具体的に提案できる

④ 個人・家族、集団支援能力

到達目標：保健事業の枠組みにしたがって、個人・家族、集団に対する支援を適切に実施することができる

行動目標：

- ・本来、支援を受けるべき対象者を特定することができる
- ・支援の優先度や緊急性をアセスメントすることができる
- ・ニーズに基づいた適切な支援計画を立てることができる
- ・支援計画に沿って、支援を実施することができる
- ・支援の評価を行い、必要に応じて修正を加えることができる

⑤ 健康危機管理能力

到達目標：チームの一員として、健康危機事象に適切に対処できる

行動目標：

- ・関連法令及び健康危機管理マニュアルの内容を把握している
- ・健康危機管理が必要な状況を察知し、具体的行動を起こすことができる
- ・健康危機事象が起こった際、役割分担に沿って、迅速かつ的確に行動できる
- ・現場の状況を観察し、収集した情報をチームや住民に適切に伝えることができる

⑥ 連携・調整・社会資源開発能力

到達目標：必要に応じて、周囲の関係者や関係機関と協力して、事象に対処することができる

行動目標：

- ・職場内及び管轄地域内において、自分の業務に関連する人的資源や社会的資源がどこにあるかを把握している
- ・必要に応じて、上記の人的資源や社会的資源に迅速にアクセスし、協力を求めることができる
- ・上記の人的資源や社会的資源を有効に活用し、問題を解決することができる

⑦ 事業評価能力

到達目標：自分が関わっている保健事業の評価に、主体的に参画することができる

行動目標：

- ・事業目的と事業評価を対応させて理解している
- ・他の職員と協力して、事業評価に必要な情報を収集することができる
- ・他の職員と協力して、事業評価の結果をまとめることができる
- ・事業評価の結果を理解し、自分の業務に適切に活かすことができる

(3)保健師等

地域保健従事者として地域における保健行政に従事する保健師は、保健行政の機能と保健師の役割及び保健活動に必要な知識や技術等を習得し、地域における保健問題解決能力を高め、保健活動が円滑に展開できるようになることが求められている。また、保健師は地域保健従事者の多くを占めているという現状から、その責務を認識し、保健活動の質的側面を支えるよう、常に保健師としての資質向上を目指すことが望まれる。保健師の専門能力として新任時期（5年間）に求められる到達目標と行動目標は以下の通りである。

① 企画・立案能力

到達目標：具体的な健康課題に対応した地域の保健活動計画が立案できる

行動目標：

- ・管内の老人保健福祉計画や母子保健計画、健康づくり計画等と、自分が関わっている保健事業との関連性について説明できる
- ・住民のヘルスニーズを踏まえ、保健活動の目標や実施計画を立案できる
- ・各種保健事業を総合的に捉え、必要な支援ができていないか等を、全体的に検討でき、その内容を計画立案に役立てることができる

② 情報収集・調査研究能力

到達目標：地域特性や地域の健康課題、個人・家族のヘルスニーズを示す保健・看護情報を収集、資料化し、課題を明らかにすることができる

行動目標：

- ・担当地域(業務)に関する既存資料や衛生統計等から必要な情報を収集できる。(地区把握)
- ・地域の健康課題や対象のヘルスニーズを、生活上の問題、或いは家族や社会関係の中で捉え、理解を深めるために必要な情報を収集できる
- ・保健事業や家庭訪問等を通して関係機関や関係職種、住民からヘルスニーズ、保健情報を把握し、整理・選択・保管できる
- ・地区活動を通して得た保健情報をもとに、必要に応じて資料化できる
- ・担当業務の見直しや評価から、調査研究の必要性を説明できる

③ 保健事業運営能力

到達目標：保健事業の目標や活動方針に沿って、円滑に運営・実施できる

母子、成人、高齢者、精神、障害者(児)、難病、感染症、歯科保健事業において、健康相談や健康教育、保健指導が展開できる

行動目標：

- ・母子、成人、高齢者、精神、障害者(児)、難病、感染症、歯科保健事業に関する基本的な概念や知識をもとに、各事業における保健師の役割が理解できる
- ・各保健事業を体系的に理解するとともに、各事業におけるチームの一員として、保健師の役割を果たすことができる
- ・各保健事業において、対象のヘルスニーズに対応し、健康相談・健康教育・看護技術を効果的に活用するとともに、保健指導が展開できる

④ 個人・家族支援能力

到達目標：個人・家族の健康問題をアセスメントし、適切な保健指導や生活支援が展開できる(個人・家族支援)

行動目標：

- ・健康問題が引き起こす生活上の障害(課題)を把握し、生活過程を整える支援ができる
- ・家庭訪問指導が展開できる
- ・援助の必要な個人・家族に対し、適切な時期に適切な方法で支援活動ができる
- ・対象者のヘルスニーズをアセスメントし、適切な保健指導や生活支援、看護ケアが展開できる
- ・正確な保健指導記録が作成・保管できる

⑤ 集団支援能力

到達目標：住民の主体的健康づくり活動を育成・支援することができる

(集団支援)

健康教育や集団指導が展開できる

行動目標：

- ・住民のヘルスニーズに応じて、個別指導又は集団指導等の支援方法が選択できる
- ・健康教育・集団指導を実施できる
- ・自助グループ等住民の主体的健康づくり活動を育成・支援することができる

⑥ 健康危機管理能力

到達目標：チームの一員として、健康危機事象に適切に対処できる

行動目標：

- ・地域の健康危機発生時に、保健師として求められる役割を把握している
- ・健康危機発生時には、チームの一員として被害者への対応等適切に行動できる
- ・地域活動において把握した保健・医療・福祉施設や関係職種、地域ボランティア等に関する情報を整理・保管し、必要時提供できる
- ・被害者の医療の確保や原因究明、健康被害の拡大防止、被害者の健康診断、心のケア等、チームの一員として主体的に役割を果たすことができる

⑦ 連携・調整・社会資源開発能力

到達目標：対象のニーズに応じて、最適なサービスを総合的に提供するために、関係者や関係機関の連携を推進するよう働きかけることができる

行動目標：

- ・管内の保健医療福祉に関する社会資源の所在地や交通経路、連絡方法等を把握している
- ・必要に応じて関係職種や関係機関を選定・連携し、調整(場の設定を含む)ができる
- ・必要に応じて自助グループやボランティアグループ、NPO等とコミュニケーションを持ち、協力を求めることができる
- ・最適なサービスを総合的に提供するために、不足する領域の人的・社会資源開発の必要性を理解できる

⑧ 事業評価能力

到達目標：自分が関わっている保健事業や担当地域(業務)の評価に、主体的に参画することができる

行動目標：

- ・自分が関わっている保健事業の問題点や成果を把握し、次年度計画に反映できる
- ・自分の担当地域(業務)にかかる受診(参加)状況や健診結果、フォローの転帰等から、技術水準を含めた評価視点に着目できる